

産業界の次世代育成へのかかわり

“教育CSR”から“教育HR”へ

2019年8月30日
株式会社キャリアリンク
若江真紀

Communication & Collaboration

～子どもたちの未来のために～

株式会社キャリアリンク

1991年創業

企業

- ◎ 企業の持つノウハウ
- ◎ 企業が提供できる教育資源
- ◎ 企業として伝えたいメッセージ
- 次世代育成
- 戦略的教育CSR
- コーポレートコミュニケーション

学校

- ◎ 教員の持つノウハウ
- ◎ 子どもたちにつけたい力
- ◎ 教員の実現したい授業イメージ
- 生きる力を育む授業実践
- 教員研修（指導案の作成他）
- 思考支援型授業の実践

● 学校と産業界（企業）の効果的な交流の実現 ●

■ 産業界の教育連携の変遷

- ・ ESG投資を踏まえた戦略的な活動
- ・ 社会課題(SDGs)へのコミットメント

教育HR戦略

教育CSV

2018年～/ESGの本格化

教育CSR

2015年頃～/CSVの本格化

● 社会課題解決

社会貢献

2000年～/CSRの本格化

● 次世代育成

～2000年/社会貢献活動



2006年にスタート！

キャリア教育プログラム開発推進コンソーシアム



“学校”そこには学びの場がある
“企業”そこにはよのなかの智慧がある

学校 Educational Institutions  **企業** Corporations

ふたつの“おもい”で子どもたちに
学びの楽しさを届けます。

学校と企業をつなぎ、教科書だけでは実現できない
実社会に結びついたキャリア教育をサポートします。

全国1700の
教育委員会との
ネットワーク

25社
40プログラム以上

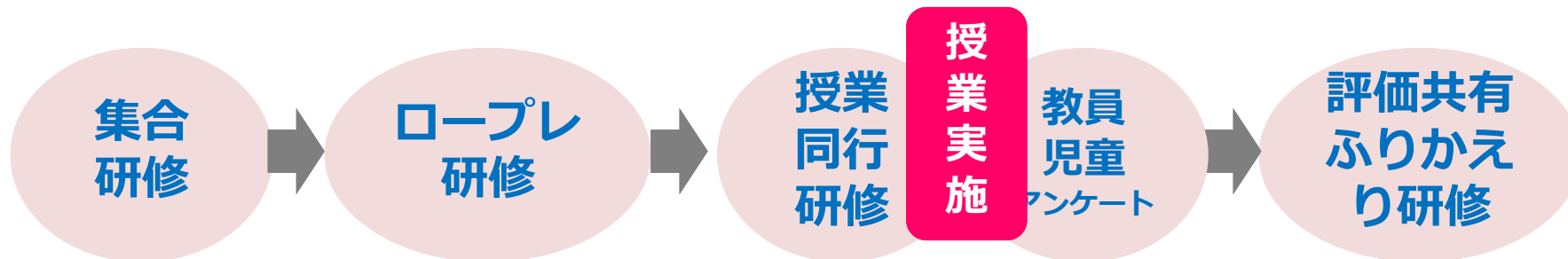
年間65万以上の
児童生徒へ
プログラム提供

■企業の教育支援プログラムの価値

- 1 日頃の学習内容と社会とのつながりを具体的に実感させる
- 2 実際の現場で使われている最新でリアルな素材にふれる
- 3 専門的な知識で児童・生徒の学ぶへの興味関心を引き出す
- 4 企業人として求められる資質・能力など生き方に触れる

■ 教育支援活動における 企業講師研修の在り方

企業講師研修の流れ（例）



INPUT

企業理念やCSRの考え方

企業市民活動として
社会ニーズに応える姿勢

自社のプログラム理解
人権・肖像権について注
意

教育現場の現状と
教育改革のポイント

教員・児童・生徒との
コミュニケーション方法



企業講師

OUTCOME

企業市民として
社員の社会貢献意識醸成

社員のスキルアップ

次世代育成活動を通して
得た学びの仕事への還元

次世代との
コミュニケーション

「キャリア教育コーディネーター」は経済産業省ガイドラインに基づく認定資格
 本事業は経済産業省キャリア教育民間コーディネーター育成・評価システム開発事業
 「キャリア教育コーディネーター育成ガイドライン」に基づき、全国5つの養成団体で実施

エントリーコース

学校教育やコーディネーター業務についての
 基礎知識の習得 30時間

1 集合研修	キャリア教育・キャリア教育 コーディネーターについて知る	●日本の教育の今とこれから ●キャリア教育とは ●キャリア教育コーディネーターの役割
	キャリア教育・キャリア教育 コーディネーターの業務① 【プログラム開発】	●学習指導要領との関連 ●児童・生徒等の発達の段階と現状 ●プログラム開発ワークショップ
2 自学自習	キャリア教育 コーディネーターの基礎知識①	●地域資源の理解とネットワークの構築 ●地域・企業のキャリア教育支援の現状 ●学校組織と教職員の職務の現状 ●キャリア教育の事例
3 集合研修	キャリア教育 コーディネーターの業務② 【効果測定】	●プログラム開発(続き) ●効果測定はなぜ必要なのか ●効果測定実践ワークショップ ●キャリア教育コーディネーターの役割
4 自学自習	キャリア教育 コーディネーターの基礎知識② 【課題制作】	●学校におけるキャリア教育 ●学校に提案するキャリア教育プログラムの開発 (課題制作)
5 集合研修	キャリア教育 コーディネーターの業務③ 【プロジェクトマネジメント】	●開発したプログラムの発表 ●プロジェクトマネジメント基礎知識 ●ケーススタディ・ディスカッション

実践コース

学校現場での実習を通した
 実践力の習得

- 1 キャリア教育についての学校ニーズのヒヤリング
- 2 カリキュラム開発
- 3 教員との調整
- 4 支援人材(企業・地域など)との調整
- 5 授業当日のコーディネート
- 6 プログラムの評価(ふりかえり) など

個別サポート

個別カウンセリング 2回

- カリキュラム開発時
- 教員との調整について
- 支援人材の活用、調整について
- プログラム作成に関わる具体的
アドバイス、フィードバック

メールサポート 2回

オプション ※別途料金

① 同行サポート

- 各関係者との調整同行
- 授業当日のコーディネートサポート

② 実施校ご紹介

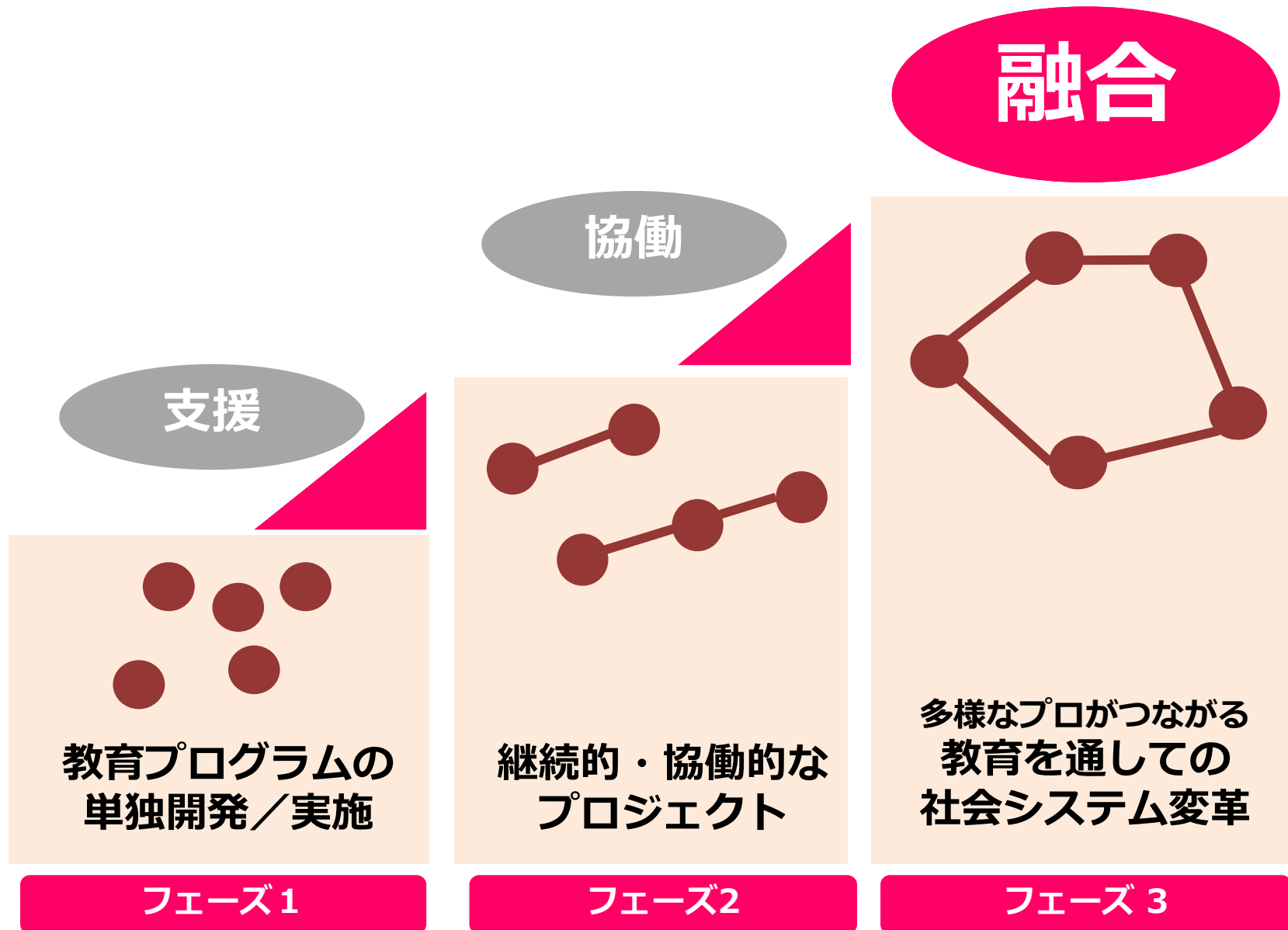
- ご自身で立案したカリキュラムを
実践する場のご紹介

実践報告会

東京/大阪
一斉集合研修

コース終了により受験資格

■ 教育連携のフェーズ変化



■ 協働から『融合』へ

教育界
社会に開かれた教育へ

教育現場をフィールドとした
Sustainable Human Development
人づくりのスキーム化

長期的・継続的関与による
企業人のキャリア開発

教員養成・採用・育成改革
現場の働き方改革

プログラム提供
事業評価とCSV実現

プログラム実施
子どもと教員の
資質能力育成

産業界
教育支援から企業戦略へ

参考事例

■ 高校における融合事例

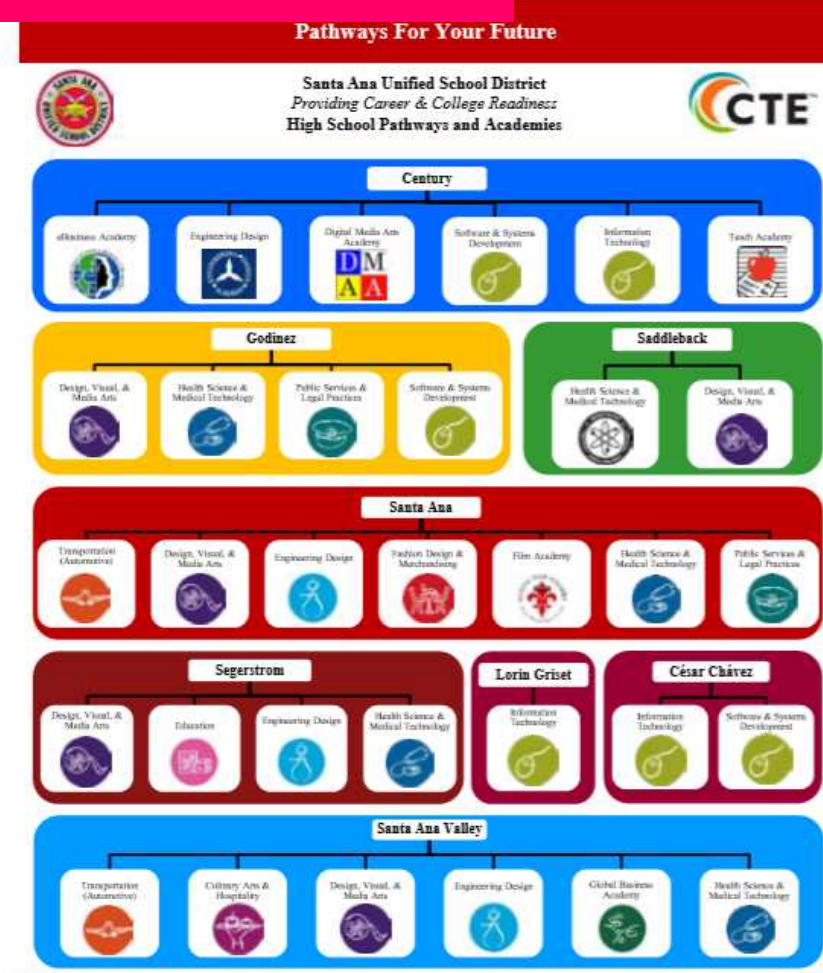
米国 : Career Technical Education

市内の高等学校7校の 39の職業に直結するパスウェイ

39 Pathways

12 STEM Focused

- 3 California Partnership Academies
- 4 Engineering (PLTW)
- 2 Transportation
- 3 Software and System Development
- 6 Design, Visual Media Arts
- 5 Health Sciences
- 3 Information Technology
- 3 Software and System Development
- 2 Public Services and Legal Practices
- Culinary Arts
- Fashion Design and Merchandising
- Film Academy
- Education



For more information, visit
<http://www.sausd.us/cte>

CTE Program contact information
Office: (714)241-6598

■ 米国 : Career Technical Education Santa Ana High School



ADVANCE > CTE
State Leaders Connecting Learning to Work

